



あおり療養検索システム どこさねっと
DCSA

Directory for Care and Services in Aomori 2021

～どこさねっとが6月7日から運用開始となりました～

▶ 「あおり療養検索システムどこさねっと」とは

医療従事者などの専門職が、患者さんが療養を希望している地域の中で、患者さんに必要な医療的管理や身体の状態に応じた条件で紹介先・転医先を検索することができ、適切な医療やケアが受けられる療養先を検索するためのシステムです。

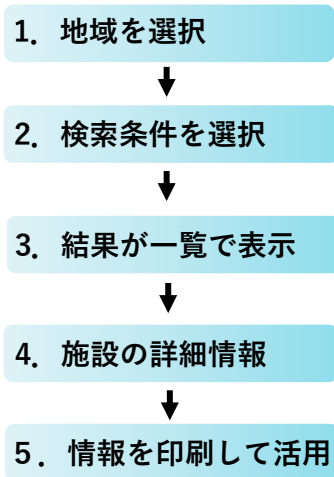
▶ 特徴

1. 県内の病院・診療所の情報80%をカバーしている。
2. 患者さんの状態に合わせて、療養先で必要となる医療処置やケアなどの情報かつ複数の条件で、医療機関を検索することができる。
3. いつでもインターネットで検索できる。
4. インターネットを活用し、協力いただいた医療機関で構築したシステムを共有する。
5. 情報収集・登録、タイムリーな情報更新と、入力管理方法の簡便化、医療機関情報の充実。

▶ 検索するとき

◎ 複数の条件で検索することができます！

検索カテゴリー（一部）	検索項目（一部）
在宅医療	在宅医療の体制—訪問診療、訪問看護など
医療処置（全43項目） 終末期の対応	胃瘻・胃管の管理、経管栄養、褥瘡処置、人工肛門・膀胱の管理、在宅酸素、人工透析、輸血など、看取りの対応、終末期の各症状の対応など
指定医と専門資格	指定医、認定医・専門医・指導医、認定看護師など



◎ 便利な機能もあります！

- ・施設の情報を比較
- ・地図上に表示
- ・検索地域対象範囲の拡大

患者さんに必要な医療/処置/ケアなど優先順位の高い条件で検索できます。



現在、どこさねっとをご利用いただける施設は県内の病院・医科診療所から開始しております。今後は、対象施設を訪問看護ステーション・薬局・歯科診療所・介護施設へ拡大し、医療と介護の情報を同じシステムで同時に検索できるシステムの構築を目指します。

県内の病院・医科診療所におかれましては、どこさねっとを利用する際の施設別のログインIDとパスワードを送付しています。ログインIDなどがご不明な場合はお知らせくださるようお願いいたします。

《お問い合わせ 医療連携部 企画グループ TEL 017-726-8493》

各診療科部長のご紹介

2021年4月より各診療科の部長に就任された4名の先生からご挨拶いただきます。

小児科 渡部 潤子 部長

日頃から、私たち小児科の診療にご協力いただきましてありがとうございます。前任の池田部長の退任に伴い、この4月より小児科部長を務めております渡部です。

当科では、感染症をはじめとする急性期疾患に加え、心臓、アレルギー、神経、血液、内分泌、膠原病、発達など様々な分野の疾患に対し、それぞれの得意分野を生かして診療を行っており、入院病棟はチーム制で協力しながら診療にあたっています。

初診の場合、より丁寧な対応を心がけておりますので医療連携部を通しての予約をお勧めしています。また現在は感染対策が必須であることから、発熱しているお子さんについては、受診前にお電話で一報いただけますと診療時間の調整がスムーズです。

新型コロナウイルス感染症流行下にあつては、これまで以上の密接な病診連携が大切であると考えております。皆様の御指導をいただきながら診療体制を整えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



麻酔科 木村 尚正 部長

今年度から青森県立中央病院麻酔科部長を拝命することになりました木村尚正と申します。

我々麻酔科医の担う職務は、まず第一に手術室における手術患者に対する麻酔管理業務が中心となります。これらについては当院の場合は院外からの紹介患者も多く扱っております。

昨今の高齢化に伴い多数の重症合併症を伴う症例も多く、治療情報の共有は非常に重要な麻酔管理の一部と考えております。これまでもお忙しい中多大なご協力をいただいておりますが、今後もよろしく願いいたします。

また、麻酔科外来ではペインクリニックや重症合併症併存症例の事前の術前検査を手がけております。ペインクリニックについては難治性疼痛症例への治療介入を行っておりますが、従来通り医療連携部を通して対応していきますので遠慮なくご相談ください。

皆様と力を合わせて少しでも地域医療のお役に立てるよう努力していきたいと考えておりますので、今後もよろしく願いいたします。



総合診療部 伊藤 勝宜 部長

前部長の離任に伴い、総合診療部長に就任致しました、伊藤と申します。

当部では、診断のつかない症状（熱、痛み、体重減少、等々）を抱える患者、県病のどの科に照会するのは適切か解りづらい患者、救命センターに紹介するほど緊急性は無さそうだが数日以内に何らかの医療介入が必要そうな患者、などを引き続きお受け致します。しかしながら現状、当部の人員の減少や新型コロナウイルス感染症の流行の影響などで思うように対応できない場合がございます。何卒ご容赦頂きますようお願い致します。

また、総合診療に興味のある方、一緒に働いていただける方、外来をお手伝い頂ける方も募集しておりますので、お問い合わせ頂けると幸いです。



泌尿器科 岩渕 郁哉 部長

川口俊明先生の後任として、泌尿器科部長に就任した岩渕郁哉と申します。1996年に弘前大学を卒業後、当院には延べ15年程在籍しております。

都道府県がん診療連携拠点病院の泌尿器科として、がん診療に重点をおき、手術は（安全性を担保した上での）低侵襲を目指し、主に腹腔下小切開手術、腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術を行ってきました。2021年4月にダヴィンチXiが導入され、さらにロボット支援下手術を推進します。がん薬物療法は新薬の開発が著しく、泌尿器科領域でも停滞なく提供できるように尽力いたします。

複合免疫療法などの副作用マネジメントは専門領域の各科と連携し、放射線治療は腫瘍放射線科と協力しています。ゲノム医療は、県内ではがん遺伝子パネル検査が可能なのは2施設ですが、当院では臨床遺伝科と連携して行っています。

泌尿器救急疾患については、救急救命センターをはじめ、外傷の出血に対する血管内治療は放射線部、重症感染症は総合診療部などとの協力体制があり、当院の強みを生かして対応いたします。

しかし、尿路結石や前立腺肥大症に対する手術は当院には碎石装置やレーザー発生装置が無いので鷹揚郷青森病院に、血液透析においては透析ベッド数が8床と少ないため重度合併症のない血液透析導入などは近隣の透析施設に治療をお願いしております。

高齢化に伴う患者数の増加のなかで高度化する医療提供するためにも、検診や症状の安定している患者さんの治療継続などは、今まで以上に近隣の先生方のご協力を賜りたいと存じます。

今後とも何卒よろしく願いいたします。



看護部 高林 良子 部長

令和3年4月より看護部長に就任いたしました高林です。

新型コロナウイルス感染症対策が長期化するなかで、医療や介護の最前線で生命を守り、暮らしを支えている、医療関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。



当院では、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れ、PCR検査、濃厚接触者に対するスクリーニング等の対応を行っております。また、感染管理認定看護師が感染拡大防止対策指導のため地域に出向いています。医療・看護提供体制を維持するための新たな対応が求められているところです。施設や領域の垣根を越えて、看護職が一つになって地域医療を支えることができるよう、役割を果たしていきたいと思っております。看護職一人ひとりが、自律して、それぞれの立場で看護の力を発揮できるよう、「看護の質向上と役割拡大の推進」に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

医療連携部 早坂 佳子 次長

令和3年4月より医療連携部次長に就任した早坂です。

療養支援センターを開設し2年が経過し、入院前からの退院支援が軌道に乗りつつあります。また、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、退院調整カンファレンスのWeb開催を開始し、連携しやすい環境を準備しました。地域のかげはしとしての役割を果たせるようスタッフ一同努力してまいりますので、皆様方より一層のご指導とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



お知らせ

当院から診療情報提供書を返信する際に、ご紹介いただいた患者さんの診療領域別に、当院で取り組んでいる治療等の情報提供を始めました。

7月から開始しており、泌尿器科・腫瘍放射線科の取組みを掲載しております。今後はご紹介いただいた患者さんの領域ごとに、当院の取組みについて情報提供に務めてまいります。

各グループお問合せ先

◎ 外来予約グループ	017-726-8377	患者さんのご紹介や診療予約など
◎ 療養支援センター	017-726-8307	入院前・退院後の療養に関する相談など
◎ 相談支援グループ	017-726-8177	療養中の仕事や生活、お金や制度のご紹介・相談など
◎ がん相談支援センター	017-726-8435	がんに関するわからないことや療養上の相談
◎ 難病相談	017-726-8416	難病に関するわからないことや療養上の相談
◎ 企画グループ	017-726-8493	広報誌や研修会などに関するお問い合わせ

※ 各種相談では、仕事と療養（就労支援）について力を入れています。